

# KOTOHOGI no YOSOOI

~JAPANESE WEDDING~

平成23年10月8日(土) ~ 平成23年11月2日(水)

休館日：日曜日・祝祭日及び10月14・17~19日



# 寿の装い

~ JAPANESE WEDDING ~

共立女子大学  
家政学部学生による企画展示

**共立女子大学**

神田一ツ橋キャンパス 本館1階展示室

東京都千代田区一ツ橋 2-2-1 TEL 03-3237-2425

東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線

「神保町」駅下車 A8 出口から徒歩1分

東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 1b 出口から徒歩3分

共立女子大学家政学部学生による企画展示

# 寿(にとほぎ)の装い

婚礼は、女性にとっても男性にとっても人生最大のイベントといえるでしょう。特に女性にとって花嫁衣裳を着ることが格別の意味を持つことは、過去から現在に到るまで花嫁衣裳に女性たちが贅を尽くしてきたことから明らかです。また結婚に際して準備される嫁入り道具は、両親の娘に対する思いが籠ったものといえるでしょう。

過去においては、用意される花嫁衣裳にも嫁入り道具にも、家族の経済力や身分・階級が反映されていたことは事実ですが、これらに両親の娘に対する愛情が惜しみなく注がれていることは共通しています。

今回の展示では、江戸時代から昭和時代にかけての富裕な女性の婚礼衣裳と、江戸時代の大名婚礼調度を中心に、日本人の「寿」のこころとその表現の多様さをご覧いただきたいと思います。

## 主な展示品

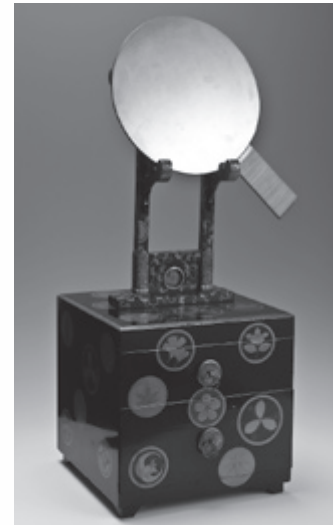
- 白綸子地松竹梅鶴亀模様打掛 江戸時代・19世紀
- 紅綸子地松笹鶴模様打掛 江戸時代・19世紀
- 紺緇子地薬玉模様打掛 江戸～明治時代・19世紀
- 黒緇子地松模様振袖 大正時代・20世紀
- 紅緇子地竹模様振袖 大正時代・20世紀
- 白緇子地梅模様振袖 大正時代・20世紀
- 家紋散蒔絵手拭掛 江戸時代・18世紀



白綸子地松御簾模様打掛  
明治時代・18世紀



金地楽器模様錦帯  
昭和時代・20世紀



違鷹羽紋付鏡  
家紋散蒔絵鏡台  
江戸時代・18世紀